

ひやまの消防団が集結

6月26日、檜山南部の4町（上ノ国町・江差町・乙部町・厚沢部町）の消防団が役場前駐車場にて訓練等を実施しました。

4町の消防団が一堂に会して行われた訓練および合同研修では、放水活動に使われるポンプが水をくみ上げる仕組みを主に学んだほか、トラブルの未然防止や、現場での対応力を上げることを目的とした総合的な学習が行われました。この日は4町の消防団が集まったということもあり、互いに刺激を受けながら意見を交換し、練度を高め合っている様子でした。



願ひ事、織姫と彦星とどどど！

7月1日、七夕に合わせて上ノ国保育所園児達が作成した笹かざりが、天の川橋に飾り付けられました。好天に恵まれたこの日は、保育所で飾り付けた笹を園児達がかついで天の川橋まで運びました。取り付けられた短冊には、「ケキ屋さんになりたい」「PS4がほしい」など様々なお願い事が書かれており、特にケキ屋さんは町内にお店がないので、是非かなえて欲しいお願いですね。また、この様子は7月7日放送のテレビ番組でも、一年中天の川が見られるまちとして、子ども達の様子とともに取り上げられました。笹は七夕までの1週間ほど飾られ、園児達の願いの短冊とともに、天の川を吹き抜ける風に揺られていました。



まちを明るくする一人ひとりの活動

7月4日、『第66回社会を明るくする運動に関する総理大臣・北海道知事のメッセーτζ伝達式』が、役場正面玄関にて執り行われました。

メッセーτζ伝達が行われたこの運動は、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支援するため、地域ぐるみで協力し、社会全体を明るくしていくことを目的として、全国的に行われているものです。本町においては、8名の保護司や人権擁護委員の活動もこの運動の一端として行われており、それぞれの立場から、よりよい地域社会の実現に向けて活動を行っています。

伝達式に参加した保護司の方からは、『できることは小さいけれども、少しでも地域に貢献できれば』と思っ活動しています』との言葉があり、今後も犯罪や非行防止活動に力を入れてがんばりたいとのことでした。



赤ちゃんもおいしくスライ

7月13日、上ノ国町食生活改善協議会（木村明美会長）によるお母さんと赤ちゃんのための食事教室「もぐもぐ教室」が開催され、10名の赤ちゃんとお母さんが参加しました。

この教室は、これから赤ちゃんのごはんを作るとともに、減塩や低カロリーといった病気になるににくい料理を学ぶことで、ご家庭の生涯を通じた生活習慣病予防を目的として行われています。

料理には、出汁をしつかりとつた減塩味噌汁、柔らかいお粥などを作り、味の濃い塩分過多の料理を遠ざけ、自然と生活習慣病にもなりにくい体にする事ができるなどのことで、お母さん方は赤ちゃんのために真剣に学んでいる様子でした。

